

京都市立芸術大学（C地区）

建築場所	京都市下京区下之町5 6番地ほか
建物概要	構造形式：鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造（基礎免震） 階数：地上7階・地下1階 延べ面積：約46,500 m ²
環境指標	BEE=3.3（当初） BEIm = 0.80（当初）（S ★★★★★） ※最終の数値は変更の可能性がります。
竣工年月	令和5年8月予定
事業者	京都市
設計者	乾・RING・フジワラボ・o+h・吉村設計共同体
施工者	建築工事：株式会社竹中工務店 電気設備工事：きんでん・豊原・デリブ特定建設工事共同企業体 空調衛生設備工事：新菱・橋本・エスティアイ特定建設工事共同企業体

パース：高倉塩小路より



C敷地、北西側から見た様子です。塩小路通から音楽ホール兼講堂のある3階へ、スムーズにアクセスできる大階段を設けて、キャンパス内に人の流れをつくりま

パース：河原町塩小路より



C敷地、北東側から見た様子です。ギャラリー@K C U A（アクア）や芸術資料館を1階に配置し、塩小路通沿いにおいて大学の芸術活動を発信すると共に、京都駅から東山へ至る動線の魅力向上を図ります。

パース：大合奏室



パース：C地区 3階テラスより



C敷地中央、キャンパスを南北に貫く大通り（芸大通）や、中高層階の大きなテラスが芸術活動の場になるとともに、芸大を訪れる人々と芸大生の交流の場となり、都市の中の大学の新しいあり方を表現していきます。

パース：十字路



パース：中庭（吹抜け）



パース：図書館



工事写真：令和3年3月時点



工事写真：令和3年6月時点



工事写真：令和3年8月時点



工事写真：令和3年10月時点



工事写真：令和3年12月時点



工事写真：令和4年3月時点



- モデル建物法複数用途集計ツール（平成28年省エネ基準用）による計算結果

BEIm : 0.80

- CASBEEの評価結果



5 環境への配慮, 安心・安全への配慮

○建築計画による省エネルギー化

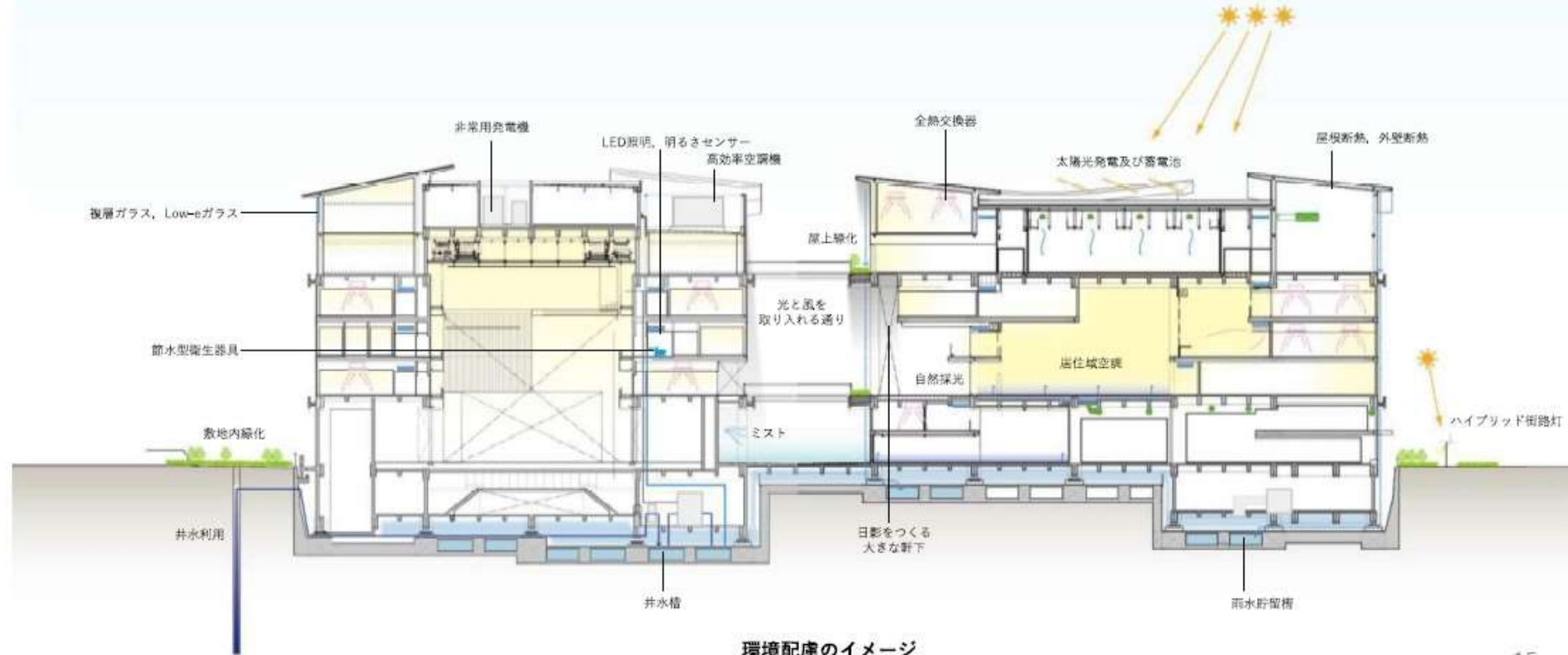
- ・大きな庇による日射の抑制, 屋根・外壁・建具の高断熱化により, エネルギー消費量の低減を図ります。
- ・吹き抜けや通りを設けることで, 建物内部まで光や風を取り入れ, できるだけ設備に頼らない, 快適な建築物を目指します。
- ・大きな屋根で集水した雨水を, 打水や散水などに活用します。

○エネルギーのベストミックスとマネジメント, 環境負荷低減の両立

- ・地中熱及び太陽光等の再生可能エネルギーを活用するとともに, 熱源の分散化により, 高効率で災害に強いシステムを実現します。
- ・電力・水道・熱の消費量の見える化を行うなど, エネルギー運用の総合的なシステムを構築します。
- ・「京都市公共建築物低炭素仕様」に基づき, 京都市の建築物として求められる環境性能を満たします。

○防災活動拠点としてのキャンパス

- ・学生・教職員が安心して安全に教育研究に取り組めるよう, 十分な構造安全性やバリアフリー, セキュリティを確保したキャンパスとします。
- ・京都駅に近い立地を考慮し, 災害時の帰宅困難者が一時滞在できるスペースをC地区に確保します。
- ・元崇仁小学校が担っている避難所としての機能を引き継ぎます。
- ・大雨による水害に備え, 電気室を2階以上の階に設置します。また, C地区に非常用発電機を設置し, 停電時にも必要な設備に電力を供給できるようにします。



環境配慮のイメージ